

議 事 録

会議名称	令和4年度第1回泉南市総合教育会議		
日 時	令和4年6月20日（月） 午後5時00分～午後5時56分	場 所	泉南市役所 2階大会議室
出席者	山本優真市長、富森ゆみ子教育長、片木哲男教育委員、柳澤泰志教育委員、藪内進教育委員、太田淳子教育委員		
事務局等出席者の職氏名	（事務局職員） 川端豊総合政策部長、伊藤公喜総合政策部次長兼政策推進課長、辻嘉彦総合政策部参事兼秘書広報課長、水内正敏総合政策部参事（政策推進・ふるさと納税担当）、小宮祐治政策推進課主任 （教育委員会事務局職員） 岡田直樹教育部長、桐岡秀明教育部次長、高山智史教育部参事兼教育総務課長、阪田佑馬教育総務課総務係長、森岡夕貴教育総務課総務係主任		
傍聴人	2名		
議 題	・泉南市教育大綱について ・泉南市立小中学校再編計画の取組状況について		

－午後5時00分開会－

【事務局職員（小宮政策推進課主任）】

定刻となりましたので、令和4年度第1回泉南市総合教育会議を開催いたします。

まず開会に先立ちまして、事務局から、泉南市総合教育会議の目的と役割をご説明させていただきます。

当総合教育会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以降、「教育行政組織法」又は「法」という。）の改正を受け設置されたものですが、メンバーは市長と教育委員会で構成され、会議の招集は市長が行うこととされております。

法に定められたこの会議の目的は、ア．市長が教育行政に果たす責任や役割を明確にし、市長が公の場で教育政策について議論することを可能にするものであり、イ．市長と教育委員会が協議・調整することにより、両者が教育政策の方向性を共有し、一致して執行にあたることを可能にするために設置されたものです。

また、この総合教育会議が取り扱う事項は大きく次の3つで、①市長が策定する教育行政の大綱に関する事、②教育環境や教育条件の整備など重点的に講ずべき施策、③児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置、の3点を協議・調整することとされています。

以上、当会議の目的と趣旨でございます。

本日の傍聴の手続きについて、御案内いたします。

泉南市総合教育会議は、泉南市総合教育会議運営規程第4条に基づき原則公開となっており、泉南市総合教育会議傍聴要領第2条では、傍聴者の定員を5名としております。

現在、2名の傍聴希望があります。それでは、法に基づき、市長が会議を招集しており

ますので、市長に座長として、会議を運営いただきます。市長、よろしくお願いいたします。

【山本市長】

まず始めに、令和4年5月22日から市長に就任いたしました山本優真でございます。今回の会議でもかつ達な議論をいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。続きまして、泉南市教育委員会を代表いたしまして教育長から一言御挨拶を頂戴いたします。

【富森教育長】

本会議の開催に当たりまして、御出席いただき誠にありがとうございます。本年度は、教育に関しまして、様々な重要な方向性を示す指針等について決定する大事な時期になっておりますので、委員の皆様からの様々な御意見を頂戴してより良きものとしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【山本市長】

ありがとうございました。それでは会議に移りたいと思いますが、先ほど事務局からの説明のとおり2名の傍聴希望がございました。定数内であるため傍聴を許可することとして御承認をいただきたいのですがよろしいでしょうか。

(全員承認)

【山本市長】

それでは傍聴者に入室いただきます。

教育委員会委員の皆様、時計回りの順番に自己紹介をお願いしてもよろしいでしょうか。

【柳澤教育委員】

教育委員の柳澤です。3期12年務めさせていただきましたが、本日、任期中最後の会議となりますので、先ほど開催した教育委員会会議の場で、退任の御挨拶をさせていただきました。

市長とは就任されて初めて会ったばかりですけれども、教育委員会として子どもたちのための取組を期待もしておりますし、また色々な部分で御尽力されることをお願い申し上げます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

【太田教育委員】

教育委員の太田淳子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私は現在3期目の2年目なので10年目になります。私は保護者委員をしております、子どもが高校生と、大学生なのですが、保護者の目線で色々意見させていただいております。

新しい市長に代わりまして、なお一層泉南市の教育が充実していけるように、どうぞお力添えをよろしくお願いいたします。

【藪内教育委員】

教育委員の藪内進です。保護司もやっております、色んな子どもの面倒とかを見て、色んな環境の家庭の方もおられるので、そういった面でも教育委員をしていて勉強になるなと思っています。

これからも教育に関して市長には色々なことをお願いするかと思いますが、よろしくお願いいたします。

【片木教育委員】

教育委員の片木哲男と申します。よろしくお願いいたします。泉南市の教育において、

小中学校再編計画が本格的に動き出し、GIGA スクール構想、JET プログラムも充実してきました。今後に期待しております。

泉南市は色々としみやかな計画を持っておりますので、是非市長の若いパワーを注いでいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【山本市長】

私が初めてということで皆様に自己紹介をしていただきました。ありがとうございます。それでは、早速でございますが議題に移りたいと思っております。

次第の2つ目にあります、泉南市教育大綱について、皆様に御議論いただきたく存じます。現行の教育大綱（第2次）の計画期間が今年度までとなっており、次期教育大綱を策定する必要がございます。現行の教育大綱の総括、次期教育大綱の策定の順で進めるため、現行の教育大綱の総括について、教育委員会事務局から説明をお願いします。

【事務局職員（桐岡教育部次長）】

令和4年度で泉南市教育大綱（第2次）の計画期間が終了することから、このたび、教育大綱（第2次）の総括を行いましたので資料に基づき説明させていただきます。配付資料を御覧ください。

1 ページ目、教育大綱（第2次）の概要を説明しまして、2 ページ以降は、6つの基本方針を構成する施策項目、成果を測るための指標と達成率、計画期間中に認識した課題と、その課題に対応する今後の方向性をそれぞれ記載しております。

まず1 ページ目、大綱の概要を御覧ください。教育大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3により、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の根本的な方針として市長が定めるものとされており、計画期間は、令和2年度から令和4年度までの3か年としております。4. 関連計画について、教育大綱は市が定める総合計画に基づき、また、教育委員会が策定する教育振興基本計画の根本的な方針となるべきものとしております。5. 泉南市が目指す基本方針として、現行の教育大綱（第2次）では、基本方針1、就学前保育の教育の充実から、基本方針6、市を挙げての教育施策の推進体制の確立まで、6つの基本方針を掲げております。また、6. 学校園の現状に書いておりますとおり、計画期間中の市内学校の子どもの数と学級数の推移についてグラフを掲載しております。子どもの数につきましては、3年間で約500人、10%の減少、一方、学級数はほぼ横ばいという状況になっております。

基本方針1、就学前保育教育の充実につきましては、①人権保育教育の推進から、⑤国際交流の推進まで、5つの施策項目をそれぞれ実施しており、具体的施策と併せて記載しております。その中の具体的施策の効果を測るための指標と実績をグラフとして掲載しております。グラフの中で青色の棒グラフにつきましては実績値、目指す目標値は赤いラインで示しております。そしてその2つの項目の比率を達成率といたしまして、オレンジ色の折れ線グラフで示しております。なお、令和4年度につきましては、見込みの数値を入れております。グラフで示しました手法と成果、そして今後の課題を踏まえまして、今後の方向性として、基本方針①では、人権保育教育の推進のため子どもの権利の取組推進、人権視点に立った集団づくり、②小学校以降の学習の土台づくりを見据えた幼児期の非認知能力の育成、③JET-CIRを定期的に就学前施設へ派遣することによる多様な文化に触れる機会の創出、という3つの方向性を明確にいたしました。

基本方針2、小中学校の教育力の充実におきましては、①学力の向上から、⑥小中一貫

教育による学習の充実まで、6つの施策項目と、実施しております具体的施策を掲載しております。指標と成果、それと今後の課題を踏まえまして、①目に見える学力の向上の継続と、子どもの主体的に学ぶ力の育成の強化、②いじめを生まない学校づくりへの支援、児童生徒の支援、家庭支援を強化、③国際化教育を推進するためのツールとして英語検定の組織取組を強化、この3つの方向性を明確にしております。

基本方針3、明るく安心できる学習環境の整備・充実におきましては、施策項目として、①教職員の資質能力の向上から、⑤調整区問題の解消まで、5つの施策項目と具体的施策を掲載しております。その指標と成果、今後の課題を踏まえまして、今後の方向性は、大きく2つです。①学校組織力の向上に向けて時間外勤務等を削減し教員が子どもと向き合う時間を確保、②小中学校再編計画の検討過程の中で、調整区の解消に向けた取組推進という2つの方向性を明確にしております。

基本方針4、安全・安心な教育環境の整備につきましては、施策項目として、①安全・安心かつ多様な教育等に対応した学校施設から、④学校内外の防犯対策まで4つの施策項目と具体的施策を掲載しております。その指標と成果、今後の課題を踏まえまして、今後の方向性としては大きく2つです。①決定した小中学校再編計画に基づく新たな学校機能の検討、②地域と連携した子どもの見守り活動の新たな取組という2つの方向性を明確にさせていただきました。

基本方針5、生涯学習の推進におきましては、施策項目として、①人権尊重のまちづくりから、⑤子どもの居場所づくりの推進まで、5つの施策項目と具体的施策を掲載しております。それぞれの指標と成果、今後の課題を踏まえまして、今後の方向性については大きく3つです。①人権推進課そして市民と連携した社会課題の解決に向けた具体的な取組、②情報拠点である図書館や公民館等との連携事業の企図と実施、③青少年の健全育成に向けた青少年センターにおける関連講座の企図と実施という大きく3つの方向性を明確にしております。

基本方針6、市を挙げての教育施策の推進体制の確立におきましては、施策項目として、①子どもの権利に関する条例の推進から、⑥総合教育会議の機動的かつ適切な運営まで、6つの施策項目をあげております。それぞれの指標と成果、今後の課題を踏まえて今後の方向性は大きく3つです。①子どもの権利条例の認知度の向上、②子どもが市長へ提言していける仕組みづくり、③ワールドマスターズゲームズの開催に向けて、泉南スポーツコミッション協会を核とした支援体制づくりという大きく3つの方向性を明確にしております。

以上が現段階での泉南市教育大綱（第2次）の総括となります。なお、今回の教育大綱（第2次）の総括を受けまして、各基本方針で明確にした今後の方向性を踏まえつつ、国や大阪府の教育振興基本計画の考え方や動きを参考といたしまして、これからの教育に関する基本方針を検討していきたいと考えております。教育委員会事務局からは以上でございます。

【事務局職員（伊藤総合政策部次長兼政策推進課長）】

教育大綱（第3次）に向けた今後の方針等をお伝えしたいと思います。本来、教育大綱を策定した時に、期間を5年間とするということでしたが、第6次泉南市総合計画が来年度から稼働することになっています。第6次泉南市総合計画の計画始期を合わせるため、教育大綱（第2次）は3年間にしたという経緯がございます。現在、泉南市総合計画につ

きましては、令和4年度中の完成を想定しながら、行政課題を把握して市民ニーズやトレンドを見極めて10年間のまちづくりを目指したいと思っております。それに合わせるように、第6次総合計画と教育大綱（第3次）について整合性、連続性を図りたいと思っております。ちなみに、教育大綱（第2次）に関しましては、総合教育会議を3回開催し、確定した経緯がございますので、今回の教育大綱（第3次）に関しても同じように、本日を含めて3回程度の総合教育会議を想定した上で、令和4年9月までを目途に、策定に向けた取組をしていきたいと思っております。本日以降の流れですけれども、次回の総合教育会議までに私たちと教育委員会事務局が連携して、行政課題や教育課題を洗い出して整理するとともに、教育行政においてすべきことであったり、今後しなければならないようなこと、JETプログラムやGIGAスクール構想など、泉南市の特色や個性のある教育現場の視点も含めて、教育の目標や教育政策の根本的な方針となるよう、両事務局で素案を取りまとめたいと思っております。素案に関して教育委員の皆様にご意見、御指摘をいただきたいと思っております。3回の総合教育会議を経た上で、最終的に第6次総合計画と連動した上で、教育大綱（第3次）を策定していきたいと思っております。以上です。

【山本市長】

ただいま事務局から説明をしてもらいました。説明について御意見や御質問等ある方いらっしゃいましたら挙手をお願いいたします。

【蕨内教育委員】

教育大綱（第3次）の計画期間は、何年間を想定しているのでしょうか。

【事務局職員（伊藤総合政策部次長兼政策推進課長）】

事務局としては、泉南市教育大綱（第1次）の計画期間が5年でありました。泉南市総合計画は10年間の計画になりますが、次期教育大綱の計画期間については、5年間を想定しております。

【山本市長】

そのほか、何がございますか。

【富森教育長】

第6次泉南市総合計画を受けまして、現在教育委員会で進めている様々な施策を今後どうやって進めていったらいいのか、教育委員会でも教育大綱の基本計画を基に、毎年重点施策をあげています。今後の教育の方向性を見据えてこんなことも取り組んで行ったらいいのではないかというような、教育委員会委員のこれまでの御経験なども踏まえて、何かお考えがありましたらお話いただけたらと私は考えていますけれども、いかがでしょうか。

【山本市長】

これから事務局の方で、意見集約をしてどんどん作り上げていくというタイミングでございます。

先ほども事務局からありましたとおり、泉南市教育大綱（第3次）につきましては、本日の総合教育会議を1回目としまして、令和4年9月までを目途に合計3回程度会議を開催し、策定に向けて協議することを予定しております。次回の総合教育会議までに両事務局が教育課題や行政課題を整理しまして、教育大綱の素案をとりまとめるということにしていきたいと考えております。

先ほど蕨内委員からの御質問にお答えしたとおり、総合計画は10年間変えることがないということで、市の方向性を決めていく大事な計画になります。それに沿ってということ

になりますので、教育大綱もまた大事な計画になります。今までの教育大綱を参考にしていきながら、今までとこれからは状況が違ってきていますので、忌たない御意見を、この会議でも構いませんし、事務局の方にも意見集約をしていただきまして、しっかりそれぞれの基本方針の目的に合致するような項目になっているのかというところの検証も含めて、今までの固定観念にとらわれることなく、かつ達な議論をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、次第の3つ目にあげております、泉南市立小中学校再編計画の取組状況について、教育委員会事務局から説明をお願いします。

【事務局職員（高山教育部参事兼教育総務課長）】

それでは私から、泉南市立小中学校再編計画の取組状況について御説明します。進捗状況についてお話しさせていただきます。令和2年に泉南市立小中学校再編計画〈複数原案〉を策定しておりまして、今回、複数案に絞った上で、泉南市教育問題審議会を設置させていただきました。泉南市教育問題審議会委員の委嘱式を令和4年1月13日に埋蔵文化財センターにて行いました。その後、合計で8回の教育問題審議会の開催を予定しております。そのうちの第1回から第4回までは既に終了しております。第4回では、大阪府内で2番目に設立した義務教育学校、和泉市立南松尾はつが野学園に視察に行つて参りました。委員21名中13名が出席して、事務局からは7名が参加しました。現場の先生方も参加しましたので、現場に即した質問に対して御回答いただきました。また市ウェブサイト上で公開したいと考えております。

7月に開催する第5回教育問題審議会については、令和4年4月下旬から6月上旬まで実施しました、泉南市立小中学校再編計画〈複数案〉のアンケート結果を集計しまして、審議会に御報告させていただきます。市民・保護者、現場の教職員、児童生徒に回答していただいています。それとともに、A案、A2案、新B案について、皆さんに議論をしていただき、8月の第6回教育問題審議会では、3案についての議論と、40年という長いスパンの計画となるため、途中での見直し等について、どういったタイミング、基準で見直しをすればいいのかということについても話し合っていたいただきたいと思います。そして、9月の第7回については、第6回と同じように再編計画の見直し方法と、A案、A2案、新B案、3案ある中で、1案に絞っていただきたいと思います。そして、10月の第8回については、市長に答申をしていただきたいと思います。その後、総合教育会議を経た上で、決定したいと考えております。また、総合教育会議の前に、パブリックコメントを実施し、市民からの意見を参考にしつつ、再編計画を決定して公表したいというふうに考えております。

【山本市長】

ただいまの説明について御質問や御意見のある方いらっしゃいましたら、挙手をお願いします。

【事務局職員（高山教育部参事兼教育総務課長）】

私の発言に誤りがありました。教育問題審議会から市長に答申と申しましたが、教育委員会へ答申を出すことになります。

【山本市長】

教育問題審議会に答申を出して、教育委員会で審議するということですね。パブリックコメントを実施しながら、それも踏まえて総合的に、最後、総合教育会議で決めていくと

いう流れでよろしいですね。今の訂正も踏まえて、質問等ございましたらよろしくお願
いたします。

片木委員。

【片木教育委員】

パブリックコメントを経て、最終的に総合教育会議で決定するのは令和4年末になる
のことですか。

【事務局職員（高山教育部参事兼教育総務課長）】

令和4年の秋に答申をいただいた上で、パブリックコメントを実施しますので、総合教
育会議で決定は、年末ではなく、令和4年度の年度末くらいに決定したいと考えておりま
す。

【事務局職員（伊藤総合政策部次長兼政策推進課長）】

総合教育会議の中では決定ではなく、調整・協議をする場となっております。

【山本市長】

他にございますでしょうか。

藪内委員。

【藪内教育委員】

パブリックコメントの時に、令和4年6月15日に和泉市立南松尾はつが野学園に視察に
行った時の資料も提供されますか。

【山本市長】

事務局お願いします。

【事務局職員（高山教育部参事兼教育総務課長）】

和泉市立南松尾はつが野学園での質疑内容については、もっと早い段階で公表したいと
考えています。

【山本市長】

よろしいですか。他にございますでしょうか。

太田委員。

【太田教育委員】

保護者委員の視点から、気になる点の意見をさせていただきます。ハード面で学校再編
計画が必要というのはもちろん仕方がないことだと思います。では、ソフト面にはどうい
ったところに重点をおいて計画を進めているのかがよく分からなくて、すごく不安です。
現在調整されている最中なので、結論はまだ出ていないと思うんですけど、保護者の立場
からしたら、学校再編されて遠くの学校へ行ったとして、その出口としてどんな教育を受
けることができるというメリットがあるのかというところが気になると思います。遠くに
学校があったとしても、皆さん受験されて行くじゃないですか。なぜかという、その学
校でいい教育ができるという保証があるからだと思うんです。もちろん統合されて遠くな
ってしまうところもありますけれども、もっとその先にある、泉南市だからできる教育を
目指さないと納得してもらえないと思います。財政上、仕方がないというのは皆さん分か
ってくれていると思うんですけど、それ以上に新しい市長と教育委員会の私たちが目指し
ていけないといけないのは教育の中身だと思うので、ここをしっかりともう一度私たち全
員で確認しながら丁寧に進めていけたらと思っています。よろしくお願いたします。

【富森教育長】

私から少し補足させていただくと、基本的に泉南市立小中学校再編計画<複数案>は、中学校区は変わりません。ですので、小中一貫教育は、小中学校9年間を見通して、子どもたちをどう育てるかということ、先生方に1つの視点を持って、例えばキャリア教育の中で、泉南中学校区では、目指す二十歳像をみんなで共有するとか、そういう形で今も少しずつ中学校区単位でひとつになって、子どもを育てていこうということをしております。まだ案の段階なので、何年頃にどこがどうなるかははっきりしていないのですけれども、また具体的に決まりましたら、地域の方々とワークショップなどをして御意見も聞きたいと思っております。この地域の子どもたちをこういう風に育てて行きたいというのは先生方だけでできることではないので、地域の方の願いをしっかりと受け止めながら、目指す子ども像、どういう子どもに育てていきたいかということと共有して進めていくことが大事だと思っております。是非、保護者の方からもお力添えいただければと思っております。以上でございます。

【山本市長】

今、太田委員からお話がありました。全体の構想も含めてなんですけれども、学校再編の結果、学校が遠くなる子どもたちは、通学路はどうなるのか、バスはどうするのか、避難所はどうするのか、学校はコミュニティ拠点という位置付けもあって、そこら辺をどうするのかという細かな大事な話ですよ。その議論は、事務局で皆さんの意見集約をしていくのかということ、継続してやっていくという認識でよろしいですか。この質問に対して事務局から答弁をお願いします。

【事務局職員（岡田教育部長）】

泉南市立小中学校再編計画に関する御質問、御意見ありがとうございます。これまで住民説明会でも通学路の心配や、学校が無くなると避難所が無くなるのでどうなるのかということなど、様々な御心配を聞いております。それを今後考えることは必要だと認識しております。基本的にはこの3案で示しておりますように、新しく再編する学校には、地域の色々な公共施設の機能を複合できたらいいなと思っております。また一方で、避難所が無くなってしまふところにつきましては、当然避難所機能は必要だということで、今後、首長部局の方々と協議しながら、学校の施設の一部を引き出す機能を持った何らかの公共施設として使っていくところを考えていかなければならないと思っております。それらについては、今回この新しい体勢で首長部局の皆さんと協議していければいいなと、そしてより具体的に進めていく段階では、先ほど教育長からありましたように、地域の皆様に入っていたワークショップなどを行って具体化していきたいと考えております。そういった動きは、再編計画に示しております40年間、4中学校でどう動いていくかがございますので、まずはこの計画が決まった暁には、最初に再編していく学校の周辺からワークショップを始めていこうと考えております。ただそのワークショップをいつから始めるかというのは、今のところまだ明言できませんので御了承ください。以上です。

【山本市長】

太田委員よろしいですか。今の議論はとても大事な部分なので、丁寧にプロセスを踏んで、首長部局もしっかりしていきたいと考えております。その他ございますでしょうか。

よろしいですね。泉南市立小中学校再編計画については、教育問題審議会からの答申、パブリックコメントなどの手続きを経た上で、改めて総合教育会議にて確認させていただき協議することといたします。続きまして、次第の4つ目、その他についてでございます

が、委員の皆様からその他御意見、御報告等がございますでしょうか。

【柳澤教育委員】

今よく取り上げられているのが、コロナ禍も3年目になります。感染を防止するためにマスクをしていますが、熱中症になるということを最近よく言われています。先生が率先して外さないと子どもたちが外せない、新入社員もですが、小学校に入学して2年経った、2年生の子どもの表情が全く見れていないということがあると思います。コロナ禍から影響を受けた、ナーバスな状況が今後続くのかなという気がします。だから、泉南市教育委員会として取り組んでいただく中で、メンタルケアについても考えていただけたらと思います。よろしく願いいたします。

【富森教育長】

柳澤委員、ありがとうございます。本当にこの件については様々な考えがありますし、何が正しいのかというのは分かりません。正直私たちも、国や府から来る通知を基に行っています。校長面談を行いまして、各学校園の先生方と話す中で、子どものマスクの着用状況はどうですかと聞くと、取り外すのにちゅうちょすることが増えているとのこと。そのため、例えば校長が率先して、校門で朝の挨拶する時はマスクを外し、あまり大きな声を出さずに挨拶したり、校長室で1人で仕事している時は、ドアを開けマスクを外して、子どもから、先生マスクしてないやんと言われると、1人で距離があるからしていないんだよというように、まず大人が示すというのも方法なのかなと思います。しかし、不安を持っている子どもに無理強いはできない、とても本当に繊細な問題です。健康を守る、命を守るということが学校で大事なことでございます。学校園も苦勞しながら対応しておりますので、引き続き様々な努力をしていきたいなと思っております。以上です。

【山本市長】

他にございますか。今の話も含めても構いません。他にございますか。

【片木教育委員】

泉南市の教育課題は色々あるかと思いますが、とりわけ私は、学力問題が非常に気になります。私も教育委員になって今年で12年目ですが、当時からずっとこの問題が議論されておりまして、なかなか解決に至りません。すぐには解決できるものではないですが、根底には、子どもの貧困問題があると言われております。経済状況と学力の相関関係は昔からずっとあると言われております。大阪府の学力調査の結果を見ますと、やはり泉州地域はどうも不振が続いています。そういう中で、市長にお願いしたいことは、そういう子どもの施策を、教育委員会でいくら頑張っても、常に頑張っていると思うんですけども、やはり側面からの総合的な支援がないと学力問題は解決できないんじゃないかと思えます。先ほど説明がありましたように、学校園の状況で、3年間で10%の児童生徒の減少があったとのことですが、実状として子どもは大きく減っているんですけども、不登校の問題は本当に深刻な問題になっています。子どもの数は減っているのに、学校へ来ない子どもは非常に増えています。不登校率はかなり高いのではないかと心配しております。教育委員会で頑張れることは当然頑張ってくださいとして、市長として側面から学力問題を解決するためには、どういうことをしていただけるか期待するばかりですけども、色々な施策を、バックアップをしっかりとさせていただきたいと思えます。それから、組織は縦割りと言われますけど、福祉など色々な分野が教育に関わりますので、その分野の協力を得て、是非、全市を挙げて学力問題を解決していただきたいです。でないと、子どもた

ちの将来は決して明るくないです。学力に課題を抱えたまま泉南市の学校を卒業して社会に出ると、様々な試練が待ち受けています。学力向上に取り組み、成果を出していくことにより子どもたちは、泉南市に生まれてよかったと、泉南市の学校出てよかったと、子どもたちが社会に出て初めて実感すると思うんです。厳しい社会の荒波にあって初めて自分は泉南市で教育を受けてよかったと実感するわけです。この問題については、教育委員会もしっかりやっていますが、市長におかれましても、学力向上を施策の大きな柱としていただき、全市をあげてお力添えいただきたいと思います。

【山本市長】

私も市長としても、そして子どもを持つ父親といたしましても、やはり学力問題に対しては非常に強い問題意識を持っております。勉強したいと思っている子どもたちが、ちゃんと学校に行って勉強できる、ちゃんと勉強して学力を伸ばしていける、そんな環境を作らないといけないと考えてございます。教育委員の皆様は専門的な知見を持っていらっしゃると思います。私も、大阪府と言わずに全国の事例をしっかりと見ていながら、学校長、学校現場ともしっかりと問題意識を共有していながら、一丸となって取り組んでいかなければいけないと思っております。当然それをバックアップ、行政サイドとして提案をしていくことをどんどんやっていきたいと思っておりますし、こういった会議を設けさせていただいて、皆様と意見交換が出来ますので、これからも今まで皆さんが思ってきたこと、こういうことしたらいいんじゃないかっていう話をどんどん出していただき、ぶつけていただくことこそが、新たな可能性を生み出せると思います。学力問題に関しては、私としてもしっかりと取り組むべき課題だと思っております。それだけではなく、不登校の問題も、どうしても学校に行きにくい、行きたくないというお子さんもいらっしゃいます。しかしながら小中学校の義務教育の中で、しっかり教育機会を作らなければいけないという問題も当然抱えております。このあたりの議論もしっかり地に足をつけてやっていかないと、子どもたちの将来に関わってきますから、その辺りの教育政策に対しても私自身が幅広い視点から見えていく、優先順位の高いものだというふうに考えております。また、不登校だけでなくヤングケアラーも含めて様々な問題が顕在化していますので、そこに対していち早く問題を捉えてアプローチをしていくというのは、行政サイドとしても必ず行って行かなければいけない、教育現場の皆様と調整して行かなければいけないことだと思っております。是非とも、引き続き皆さんの御意見をいただきたいと思っております。

マスクの話につきましても、例えばこの前、福岡市が黙食をやめました。国の方針も変わってきております。お子さん、保護者さんからも、かなり色々なお声をいただいています。一方で、その様々な理由があってマスクをせざるを得ないお子さんもいらっしゃいます。色々な考え方が行き交う中で、その双方にとってマスクしているからどうだ、マスクしてないからどうだというところで、それがあらぬ方向に行かないように教育現場では細心の注意を払っていただきたいです。なかなか慎重になりがちだと思いますが、しっかりと議論を重ねて、どんどん時代の流れに合わせて環境を変えていくというのも我々の仕事だと思います。その議論はしていかななくてはいけないことかと私も思っております。これが柳澤委員の意見に対する自分の答えでございます。

それ以外何か御意見等ございますか。

太田委員。

【太田教育委員】

私は今日、小学校で JET-ALT の方の授業を見学させていただきました。コロナ禍があつて約 2 年振りの学校訪問でしたが、びっくりしました。信達小学校はかなり古い建物ですが、教室を開けたらタブレット使って、ネイティブの先生が授業をされていて、一番びっくりしたのが、小学校 4 年生の子どもたちの発音が本当に上手だったことです。色々な課題はあると思いますが、私は、本当に泉南市の未来を見たと思いました。明るい兆しは、ここにあるんじゃないかと思っています。感動すると同時に、先生の大変なご苦勞があつたと感じました。山本市長には、先生方の苦勞をねぎらっていただくと同時に、うまく支援していただいて、子どもたちを励ましながら、また保護者や市民の皆さん、全国の皆さんに向けて色々な形で、こんな授業を全小中学校でやっているんだということを、是非アピールしていただいて、泉南市にもっと人が集まって魅力的な学校を作れるように、若い市長ならではの発信力をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

【山本市長】

ありがとうございます。岡田教育部長からも、子どもたちの英語の発音が劇的に変わつていという御報告をいただきました。関西国際空港を有する泉南市、やはりグローバル化、外に目を向けてもらうという意味合いでも大事なことだと思います。日本語ではない他の外国語を学ぶことによって、多様性を学ぶチャンスもありますから、これからどんどん磨きをかけていき、他国、他の自治体ともどんどん連携を進めていって、例えばネット環境さえ整えばタブレットを通じてコミュニケーションが取れる時代ですから、そういうことができなかなと自分の中で構想を実は持っております。色々なハードルはあるでしょうけれども、そういったものを一つずつクリアしていき、さらに可能性を伸ばしてあげたらと、新しい子どもたちの未来を切り開いていけたらなと思っています。ありがとうございます。

その他の意見はよろしいですか。それでは、以上をもちまして本日の総合教育会議の案件は全て終了となります。

なお、令和 4 年 6 月 29 日をもちまして、柳澤委員が退任されることとなります。柳澤委員におかれましては、3 期 12 年の長きにわたりまして教育委員会委員を務めていただき、泉南市の教育の発展のために御助言、御指導を賜りましたことを心より感謝いたします。ありがとうございます。

私も市長に就任して、今回が初めてということで、もう少しいろんな議論をしたかったという思いがありますが、退任された後も、様々なところから泉南市に御指導いただければと思いますので、よろしくお願いします。お疲れさまでした。

皆さん、拍手をもちまして、感謝の意をお伝えしたいと思います。柳澤委員、ありがとうございました。

次回、第 2 回泉南市総合教育会議の日程は、両事務局において次期教育大綱の素案を作成した上で、開催日を調整させていただきたいと思います。

それでは、これにて令和 4 年度第 1 回泉南市総合教育会議を閉会といたします。お疲れさまでございました。

—午後 5 時 56 分閉会—

令和4年6月20日

泉南市長 山本 優真

泉南市教育委員会教育長 富森 ゆみ子